

クラウドファンディングの種類

クラウドファンディングには大きく分けて 3 つの種類があります。以下で簡潔に紹介しましょう。

①寄付型

ウェブ上で寄付を募るものであり、金銭的リターンは想定されていません。資金の受け取り手は、寄付者向けにニュースレターを送付したり、プラットフォームで細かな情報を開示することによって、寄付されたお金がどのように使われているかを資金の出し手に知らせています。IPS 細胞でノーベル賞を受賞した山中伸弥教授が研究費の寄付を募集したことは有名ですが、社会的に意義がある、あるいは個人的に共感する事業などに資金の出し手はプラットフォームを通じて「寄付」をするというものです。

②購入型

ウェブ上でモノづくりなどのプロジェクトに対して資金調達が行われ、その成果となるモノやサービスなどがその対価として資金の出し手に還元されるというものです。基本的には、寄付型のようにそのプロジェクトに共感した人が資金を出すのですが、そのプロジェクトから生み出されるモノやサービスをもらえるという見返りも求める点で、寄付型とは少し違いがあります。運営サイト(プラットフォーム運営会社)では、「CAMPFIRE」(音楽、映画、本、アートなどのプロジェクトが中心)、「READYFOR」(社会起業的なプロジェクトが中心)、「Makuake」などが有名です。例えば「CAMPFIRE」では小津安二郎監督作品「晩春」の修復プロジェクト、尾道の空家対策プロジェクト(空家をゲストハウス「みはらし亭」にする)など興味深いプロジェクトが達成されました。

③投資型

資金の出し手は資金の調達者から金銭的なリターンを受けることを想定しているスキームです。専門的な用語になりますが、この仕組みには「集団投資スキーム型」と「株式出資型」があります。集団投資スキーム型は、運営業者を介して、資金の出し手と資金の調達者の間で法律上の「匿名組合契約」などを行うという仕組みです。株式出資型は文字通り、資金の調達者が株式を発行し、それを資金の出し手が購入し、配当や株価の値上がりによって利益を得ようとする仕組みです。投資型に関しては、特に金融商品取引法の規制下に置かれていて、法的規制の整備も現在進行で行われているようです。例えば、集団投資スキーム型の事例では、岩手県陸前高田市の「酔仙酒造株式会社」や「柳澤商店」の震災後の復興事業などが興味深い事例ですが、日本ではまだそれほど普及しているとは言い難い状況です。

クラウドファンディングのメリット・デメリット

次に、クラウドファンディングメリットとデメリットを私なりに整理しておきます。

資金の出し手から見たメリット

資金の出し手にとってのメリットは何とんでも自分のお金を主体的に生かせることでしょう。特に、寄付型、購入型では自分が共感する事業やプロジェクトに小さな資金でより主体的に大きく関わることが出来ます。例えば、自分のお金が、自分の好きな映画監督の映画の作成の一部を担っているとか、自分の愛する街の空家を再生しているとか、自分の好きな商品や製品が自分のお金によって世の中に出て行くなど、共感する事業やプロジェクトに関わりそのプロセスをより身近に実感できるということでしょう。

多くの人々が共感をし、小口の資金を出し合い、目に見える形で何かを成し遂げるといった満足感がえられるというのが最大のメリットでしょう。

また投資型では、従来の株式投資などに比べて手軽に少額の資金を投資することが可能になり、そしてその事業が大成功すれば、当初の投資金額が少額の分、高い株式リターンや高い金利が手に入る可能性があることでしょう。

資金の受け取り手から見たメリット

資金の受け取り手のメリットは、銀行などの創業融資の審査に通りそうにない案件でも、クラウドファンディングにおいて、多くのサポーターの共感が得られれば、資金を調達することができることでしょう。プラットフォームのサイトや SNS などを通じて、広く世間に事業を PR することができ、またそれらを通じて起業家とサポーターの双方向のコミュニケーションを図ることができ、それが起業家にとってスタートアップ期に必要な潜在顧客の開拓にもつながることも大きなメリットでしょう。また、政府や自治体や大企業が見向きもしない事業やプロジェクトが、サポーターと起業家が共感しあえれば、実現することができます。更には、クラウドファンディングによる活動が自治体を動かし、三者が共同して事業やプロジェクトを行うようになった例もあります。これらのことは今後、地域再生の実現、ボランティア・社会貢献活動の活性化、起業の促進などに大きな機会を与える潜在的な可能性を秘めているといえるでしょう。

デメリット

寄付型、購入型の場合、事業やプロジェクト商品開発などがうまくいかない場合が多々あります。多くの場合、ビジネスや金融に精通した人だけが起業をするのではないので、稚拙、粗雑な計画や資金不足によって構想が頓挫する例も多く見受けられます。この場合資金の出し手は、上述のメリットを享受することができません。投資型の場合、上述のことも含め、サポーターは事業が失敗するリスクを負わなければなりません。株式や持分の価値が思った以上に上がらないとか、配当が想像より少ないなど、投資リスクを負うこととなります。これは通常の株式投資などにも言えることですが、クラウドファンディングで手軽に投資できる分、これらのリスクを十分に認識せずに資金を出す人も多いのではないかと考えられます。また、クラウドファンディングでは、通常の株式などの金融商品と違って、流動性が低く、資金の出し手の持分などを転売することが難しい状況です。今のところ、一度出したお金を、やっぱりやめたいということで、他者に転売し、資金を回収することができないというデメリットがあると考えられます。更に、近年ではかなり整備されてきているとは言え、プラットフォームを運営する会社がきちんとした会社なのかどうか、といったリスクがあります。サポーターが資金を出し、起業家が良い事業を構想しても、媒介者であるプラットフォーム運営会社が途中で潰れてしまったり、いい加減な運営をしてしまえば、事業やプロジェクトは頓挫してしまいます。また、日本ではクラウドファンディングの歴史が浅く、ノウハウや法律などのインフラの整備が十分でなく、詐欺まがいのものがあるということも忘れてはならないデメリットでしょう。

以上、クラウドファンディングについて簡単に紹介をしてきましたが、今後ますます普及する資金調達の仕組みであるということは、再度強調しておきます。今後の日本経済にとって、多大な活力をもたらすのではないかと期待をしています。

>>次号は、 広島経済大学 経済学部経済学科 教授 福居信幸先生が担当されます。

◆今週の一冊◆

重本先生おすすめの一冊です。



『ファイナンス理論全史』 田淵直也著 ダイヤモンド社

私はファイナンスを専門としていますので、当然のことながら株の話の授業や講演ですることが多いのですが、よく聞かれるのが「どんな株に投資をすれば儲かりますか？」という質問です。この質問には必ず決まった答えをすることにしています。その答えは「わかりません」です。なぜそう答えるかというと、本当にわからないということと、下手に応えて、その質問者が損失を被っても責任が取れないということなのですが、もう一つ理由があります。それは、誤解を恐れずに言うと「現代ファイナンス理論」がそう言っているからです。「どうのこと？」と思われた皆さんは、是非とも本書に挑戦してみてください。本書は「現代ファイナンス理論」について、その発展の歴史を追いながら、難解で多岐にわたる理論の内容を（数式をほとんど使わずに）、一般の読者に向けてわかりやすくしかも面白く解説している稀有な書籍です。

◇2018年度 2学期 開講科目のご案内◇

※科目名からシラバスを閲覧できます。

【新規科目】■[「NPOの立ち上げ・運営とファンドレイズ」](#)

講師：スポーツ経営学科 准教授 中村隆行

NPOとは何か、何ができるのか、社会貢献しつつ、持続可能な組織をどうやって作るのかについて考えます。

★10月15日(月)開始(毎週月曜全6回)

■[「マーケティングの基礎」](#)

講師：経営学科 教授 細井謙一

初心者の方にもわかりやすい内容で、マーケティングを基礎から学びます。

★10月22日(月)開始(毎週月曜全6回)

■[「BCP\(事業継続計画\)入門」](#)

講師：経営学科 教授 岡田斎

BCP(事業継続計画)の理解と策定に関する基礎知識を開講します。

★10月16日(火)開始(毎週火曜全6回)

■「[ゲーム理論の基礎](#)」

講師:経済学科 教授 堀江真由美

ゲーム理論の基礎概念を解説し、実際にゲームをプレイしたりディスカッションすることで、分析の出発点となる均衡の概念を直感的に把握します。

★10月16日(火)開始(毎週火曜日全6回)

【新規科目】■「[初級 法人税](#)」

講師:経済学科 教授 一橋信之

法人税を初歩から学び、社会人としての常識を養います。会計や税法の知識のない人でも楽しく学べる講座です。

★10月16日(火)開始(毎週火曜全6回)

■「[実践的広告戦略立案の基礎](#)」

講師:メディアビジネス学科 教授 北野尚人

広告戦略を立案・構築するために必要な知識や視点など最近のメディア環境と情報環境の変化を踏まえて考えます。具体的な広告戦略の構築も体験します。

★10月17日(水)開始(毎週水曜全6回)

■「[スポーツビジネスで学ぶ経営の基礎](#)」

講師:スポーツ経営学科 教授 永田靖

「身近なスポーツビジネスはどのように経営されているのか」「スポーツ関連産業は新たなビジネスチャンスだ」と考える方を対象にスポーツビジネスを基礎から学びます。

★10月17日(水)開始(毎週水曜全6回)

【新規科目】■「[女性のための投資\(基礎編\)](#)」

講師:経営学科 教授 糠谷 英輝

入門編での知識を深め、自分にとって必要な投資を実践的に考えていきます。

(基礎編からの受講も可能です。)

★10月18日(木)開始(毎週木曜全6回)

【新規科目】■「[コーポレート・ファイナンス基礎](#)」

講師:経営学科 准教授 幸田圭一郎

コーポレート・ファイナンス(企業の資金に関するマネジメント)に焦点を当てて、企業の資金調達や投資活動が企業価値に与える影響について考えます。

★10月18日(木)開始(毎週木曜全6回)

【新規科目】■「よくわかる行動経済学」

講師:経済学科 准教授 山根智沙子

2017 年ノーベル経済学賞「行動経済学」について学んでみたい方のために、様々な事例から「行動経済学」が何を明らかにしているのか紹介します。

★10月12日(金)開始(毎週金曜全6回)

【新規科目】■「工業簿記の基礎」

講師:教養教育部 教授 餅川 正雄

日商簿記 2 級の工業簿記の範囲を、標準原価計算や直接原価計算を含めて分かりやすく覚えやすい形でお伝えします。

★10月12日(金)開始(毎週金曜全6回)

■「実戦ビジネス中国語会話基礎」

講師:経営学科 教授 広田堅志

中国ビジネスでよく使われている基本的な表現を場面ごとに分けて、必要最低限の内容を理解し使えるようにします。

★10月12日(金)開始(毎週金曜全6回)

◎事務局から◎

2 学期、3 学期の受講生を募集しております。

講座の詳細、お申し込みについては次の URL からご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

《カルチャー講座》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元:広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)